UNBC UNIVERSITY OF NORTHERN BRITISH COLUMBIA

ノーザーン・ブリティッシュコロンビア大学
看護学部

ルーラルナーシング
資格取得プログラム

Dr. Lela Zimmer　准教授

アカデミック・リード、ルーラルナーシング資格取得プログラム

看護学学士課程　プログラム・コーディネーター

概要

- 環境
- ルーラルナーシング資格取得プログラムの歴史と構築
- プログラム内容（RNCP）
- カリキュラムと授業形態
- 学生と教員
- ルーラルナースとして働く
- まとめ

UNBC UNIVERSITY OF NORTHERN BRITISH COLUMBIA

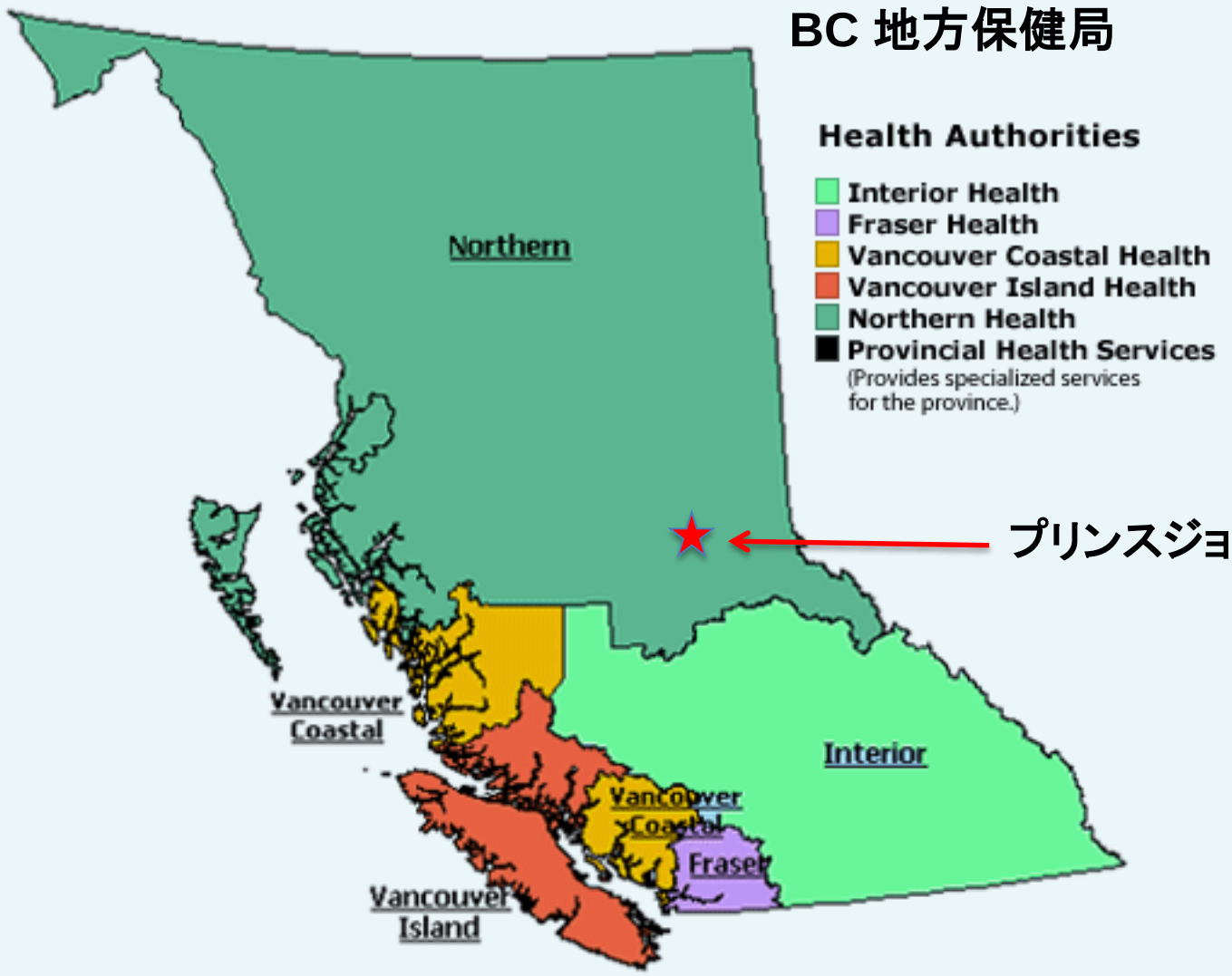
環境

UNBC UNIVERSITY OF NORTHERN BRITISH COLUMBIA

ブリティッシュコロンビアの僻地

- ブリティッシュコロンビア（BC）の大半は小さな集落であり、僻地である
- 本プログラム卒業生はこのような環境で仕事をしている
- ノーザーン・ブリティッシュコロンビア大学（UNBC）は、プリンスジョージ市に位置する
  - 人口　73,000人
  - ノーザーン・ブリティッシュコロンビアで最も大きな町
- 主要都市は州南部に位置する
  - 人口　65万人 - 280万人
  - 規模の大きな三次医療施設がある

BC 地方保健局


Health Authorities
Interior Health
Fraser Health
Vancouver Coastal Health
Vancouver Island Health
Northern Health
Provincial Health Services
(Provides specialized services for the province.)
Northern
Vancouver Coastal
Interior
Vancouver Coastal
Fraser
Vancouver Island
プリンスジョージ市

本プログラム卒業生が実際に居住し、仕事をしている市町村の一例

ルーラルヘルスケアの挑戦

- 地理
- 気候
- 遠隔地であること
- 住民の健康状態が平均より悪い
- 健康保険の人員が十分ではない
- 医療資源が少ない

UNBC UNIVERSITY OF NORTHERN BRITISH COLUMBIA

ルーラルナーシング資格取得プログラム（RNCP）の歴史と構築

ルーラスナーシング
資格取得プログラム（RNCP）の需要

- マルチスペシャリストの看護師の必要性
- 僻地において、看護師を採用し長期間確保することの難しさ
- 僻地における看護師の継続教育の必要性
- 僻地で実践を行う看護師が十分な訓練を受ける必要性

ルーラルナーシング資格取得プログラム（RNCP）の理念

- カリキュラムと授業形態:
  - 実践中心
    - 僻地の現場に即した看護実践
  - 地域の現実に即していること
    - プラクティショナーのニーズや地域住民の健康衛生状態の動向に柔軟に対応する
  - 持続可能であること

プログラムの構築　第一段階 – ニーズ・アセスメント

- 目的:
  - 僻地で働く看護師の具体的な教育ニーズを把握する
  - プログラムの理想的な授業形態を把握する
- 方法:
  - 51の僻地で22のフォーカスグループを作る
  - 236人の僻地で働く看護師（スタッフ及びマネジメント）

ニーズ・アセスメント・フォーカスグループ

質問内容

1. 日々の実践について説明してください
2. ルーラルナーシングの上級カリキュラムで焦点を当てるべき内容は何だと思いますか？
3. あなたのニーズを満たすことができるのはどのような授業形態ですか？
4. 僻地で働く看護師にとって、どのような指導法・学習法が効果的だと思いますか？

1. 日々の実践について説明してください

- 「何が起こるかわからない」
- 最新の知識とスキルを持っていなければならない
- 医療支援が限られている
- 看護スタッフが限られている
- 迅速かつ的確な決断をしなければならないという重責
- 限られた医療機器と医療資源で対応しなければならない

2. ルーラルナーシングのカリキュラムで焦点を当てるべき内容は何だと思いますか？

- 上級レベルのヘルスアセスメントとトリアージ
- クリティカルケア、救急・外傷看護
- 周産期ケア
- 高齢患者のケア
- 精神保健と依存症
- 慢性疾患管理
- 創傷ケア
- 緩和ケア
- 社会的・文化的背景を考慮したケア
- 規模の小さな集落に住むことに関して

3. どのような授業形態だとあなたのニーズを満たすことができますか？

- 職場をほとんど離れることなく修学できる方法:
  - オンライン学習
  - インターネットのビデオ会議やリアルタイムで遠隔のやりとりができる方法
  - 録音やビデオ
- 対面ワークショップ
- 実習指導教員と現場を体験する

4. 僻地で働く看護師にとって、どのような指導法・学習法が効果的だと思いますか？

- 看護師と講師が積極的に参加し、やりとりすること
- クリティカル・シンキング（批判的思考）とリフレクション（省察）を養うことができる方法
- 僻地における看護実践に特化したケーススタディ
- 新たに取得したスキルの実習
- 柔軟で創造性があり、適応性のあるアプローチ
- 授業は難易度の高いものにし、大学の単位に相当するものにする

プログラムの構築　第二段階
– カリキュラム作成

- 看護師チームによる授業内容の作成。チームには:
  - カリキュラム作成専門家
  - アカデミック・アドバイザー
  - 4人の熟練看護実践アドバイザー
- 考慮事項:
  - 科目の開講期間
  - 形態
  - 対面・実習の必要性
  - 単位数

クログラムの構築　第三段階 – 試験的プログラム

- 2007-2010年に導入された
- 試験的プログラムに参加した学生:
  - 3学年、計 226人の看護師
  - 5つのBC地域保健局のうち77の地域から参加。また、ユーコン準州とノースウェスト準州からも参加。
- 2010年の試験的プログラム終了時:
  - 18人の看護師が資格取得（7つの科目を履修）
  - その他看護師は資格取得の途中経過にいた
  - 何人かは1つか2つの科目しか履修しなかった

第三段階終了後のプログラムの評価

3つの質問:

1. 実践を中心とし、現場に即したルーラスナーシング教育に必要なプログラム構成・内容は何ですか？
2. ルーラルナーシング資格取得プログラムの導入を促進又は阻害する主な要因は何ですか？
3. 実践を中心とした本プログラムの導入は以下にどのような影響を与えましたか？:
   - 看護実践
   - 看護教育
   - 実践と教育の相互関係

評価方法

- 叙事的、質的
- インタビュー参加者　31名:
  - プログラム卒業生　9名
  - 看護マネージャー　5名
  - 1つか2つの授業科目のみを履修している看護師　10名
  - 地方保健局の看護実践リード　2名
  - 看護師長　2名
  - アカデミック・リード　1名
  - プログラム・コーディネーター／アドバイザー　1名
- テーマごとの分析
- 複数のデータソースを使って三角測量

評価内容

1. プログラムの主な構成:

- 保健局のナースリーダーと看護教員で実践・教育パートナーシップを組む
- 3つの方針に即したパートナーシップ:
  - 知識は実践の中で身につく
  - 差異に対する認識と尊重
  - 戦略・業務上の実践・教育パートナーシップ

評価結果

2. 導入を促す要因、導入にあたっての課題点

- 促進するもの:
  - 現場の看護師や看護マネージャーのニーズの認識
  - プログラムをより修学しやすいものにする
  - 現場の動向を把握し、常にプログラム内容に反映させる
- 課題点:
  - 看護師の勉強に費やせる時間が限られている
  - ワークショップや実習のための移動・費用
  - オンライン学習に適応しきれない学生の対応

評価結果

3. 看護実践及び教育への影響

- 実践:
  - 患者ケアの向上（現時点のエビデンスを見る限り）
  - 自信とコンピテンスの向上
  - 仕事に対する満足感
- 教育:
  - 熟練プラクティショナーによる厳格な授業科目評価
  - 熟練看護師を講師として迎える
  - 実践パートナーのインプットをプログラム内容・授業形態、ワークショップ及び実習に反映させる

UNBC UNIVERSITY OF NORTHERN BRITISH COLUMBIA

RNCP カリキュラム及び授業内容

RNCP カリキュラム

授業科目	単位	時間	ワークショップ	実習
ヘルスアセスメント及び看護師のファーストコール	3	39	4日間 + OSCE	X
慢性疾患管理、創傷ケア、緩和ケア	6	78	X	X
高齢者を対象とした看護実践	3	39	X	X
周産期ケア	6	78	2日間	最低 144時間
救急看護・外傷看護の基礎	6	78	4日間	最低 144時間
精神保健看護と依存症	3	39	X	X
僻地に住み仕事をすることについて	3	39	X	X
	計30			

RNCPの授業形態

- 全ての科目でBlackboard Learn（ブラックボード・ラーン）を使用し、オンライン学習を導入
- 看護学部のインストラクショナル・デザイナーの協力を得る
- それぞれの授業科目でweb shell（ウェブシェル）を利用し、下記内容にアクセスできるようにする:
  - 授業の資料やシラバス等
  - ディスカッション・フォーラム
  - 事前学習資料とラーニング・アクティビティが記載された週ごとのモジュール
  - 宿題提出先の「ドロップ・ボックス」
  - オンラインで行う試験
  - Collaborate（コレボレート）を利用してリアルタイムで講義とディスカションを行う
  - Web shell（ウェブシェル）で利用できるその他ツール
    - 例）心電図（ECG）の自習、胸痛教育コース等

RNCPの授業形態

- 対面ワークショップ
  - シミュレーション、ケーススタディ、実習
  - 授業科目:
    - ヘルスアセスメントと看護師のファーストコール
    - 周産期看護
    - 救急看護・外傷看護の基礎
- 患者数の多い急性期ケアの現場を実習指導教員と共に体験する
  - 学生は指導教員とペアを組む
  - 授業科目:
    - 周産期看護
    - 救急看護・外傷看護の基礎

最も需要の高い授業科目

- ヘルスアセスメントと看護師のファーストコール
- 周産期看護
- 救急看護・外傷看護の基礎

カリキュラムを常に現場に即したものにする

- 現行の実践・教育パートナーシップ
  - 地域保健局パートナーグループのナーシングプラクティス・リードがアカデミック・リード及びプログラム・コーディネーター／アドバイザーと年に2回交流する
- 授業科目の評価
  - 各授業科目を2-3年毎に評価する
  - 熟練のルーラルナースがクラスを評価し、レポートを作成する
  - レビュアー、授業科目の担当教員、アカデミック・リードの三者でミーティングを行い、クラスの良い点と改善が必要な点について話し合う
  - 熟練のルーラルナースと契約を結び、改善を依頼する

RNCP
学生と教員

在籍している学生

- 現在看護師として働いている
  - 看護学士号またはその他学士号を有する
  - 経験を積んだ看護師又は新卒
  - 大半は雇用主が出資している
- 事前登録している看護学士課程の学生

在籍者数

年度	2010/11	2011/12	2012/13	2012/14	2014/15	2015/16	2016/17	2017/18
数	234	199	233	206	216	181	247	302

- 看護師と事前登録している看護学士課程の学生が数字に含まれている
- 2016年の時点で、45人の看護師が7つの授業科目全てを履修し、資格を取得した
- 生徒の大半は、1つから3つの授業科目を履修しようとしている

教員

- 熟練看護師で、僻地における看護実践の経験がある
  - 地域保健局ナーシング・プラクティス・リードに推奨された人
  - 多くが現場で臨床教員をしている
- 僻地での看護実践の経験を持つナースプラクティショナー
- 学問の世界のみで仕事をしている教員は一人もいない
- 年間で最大12人の教員を採用している

UNBC UNIVERSITY OF NORTHERN BRITISH COLUMBIA

ルーラルナースとして働く

一般的なシフト内容

日中または夜間のシフトで対応する内容:

- 複雑な対応を必要とする慢性疾患
- 小児急性中耳炎
- 尿路感染症
- 外傷
- 早期陣痛
- メンタルヘルスクライシス
- 介護保険施設等への入所を待機している患者への長期的ケア
- 化学療法
- 予防接種
- 健康指導

対応する患者

患者の中には:

- 原住民
- 第一次産業で働く人々:
  - 伐採
  - 鉱業
  - 石油ガス採取
- 農業労働者
- あらゆる年齢層の僻地の住民

一般的な人員配置

- 施設の大半は病床数が25床以下
- 小規模の施設:
  - 看護師　1-5人
  - プラクティカルナース（PN）　1-3人
  - 医師かナースプラクティショナーが勤務しているか（日中）、オンコール体制をとっている（夜間）
- 比較的大きな施設:
  - 看護師　8-15人
  - プラクティカルナース（PN）　3-5人
  - 医師が勤務しているかオンコール体制をとっている

地域社会に溶け込むということ

- 地域社会の良き住民であること、そして有能な看護師であることが求められる
- 匿名性は保てない – 「常に看護師である」
- 近所の住民や友人の家族などの対応もすることがある
  - 感情的なつながりと負担
- 機密保持は難しい場合がある
- 地域社会を知り、理解する必要がある
  - その土地の社会的・文化的背景を考慮したケアを提供する

まとめ

まとめ

- RNCPは、実践と教育のパートナーシップからなるユニークな教育プログラムである
  - プログラム構築
  - ナーシングプラクティス・リードと看護教員で構成されるチーム
  - 実践中心で現実に即した看護教育を継続して行なっていく
- 難易度の高いカリキュラムを提供する
- ルーラルナースが選んだ授業形態をとる

RNCPは:

- ブリティッシュコロンビア州各地の地方保健局の雇用主から支持されている
- プログラムが貢献していること
  - 僻地にヘルスケアを提供
  - 「どのような内容にも対応していく」という看護師の能力と自信
- ルーラルナースの採用と確保のニーズに対応している